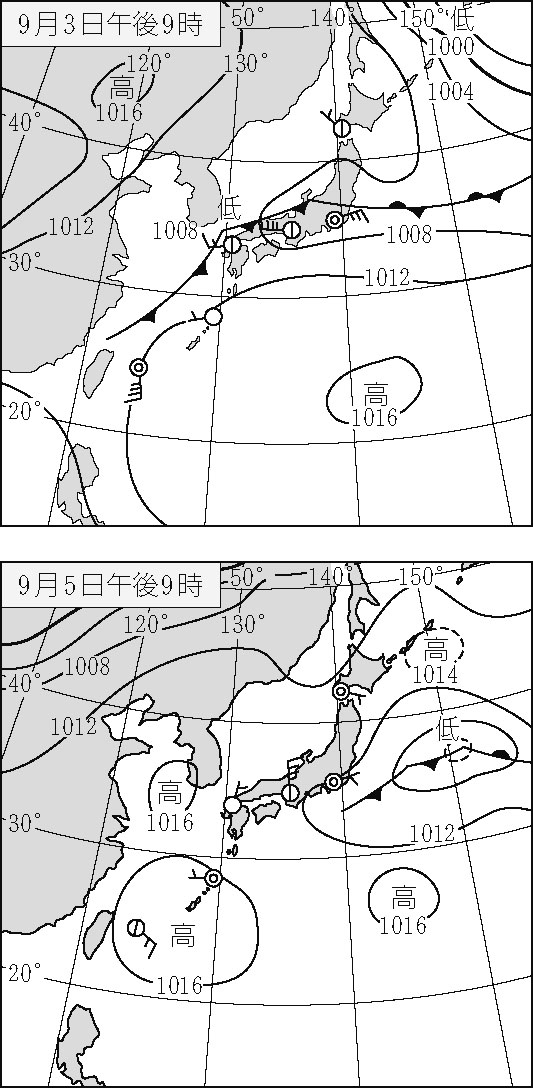
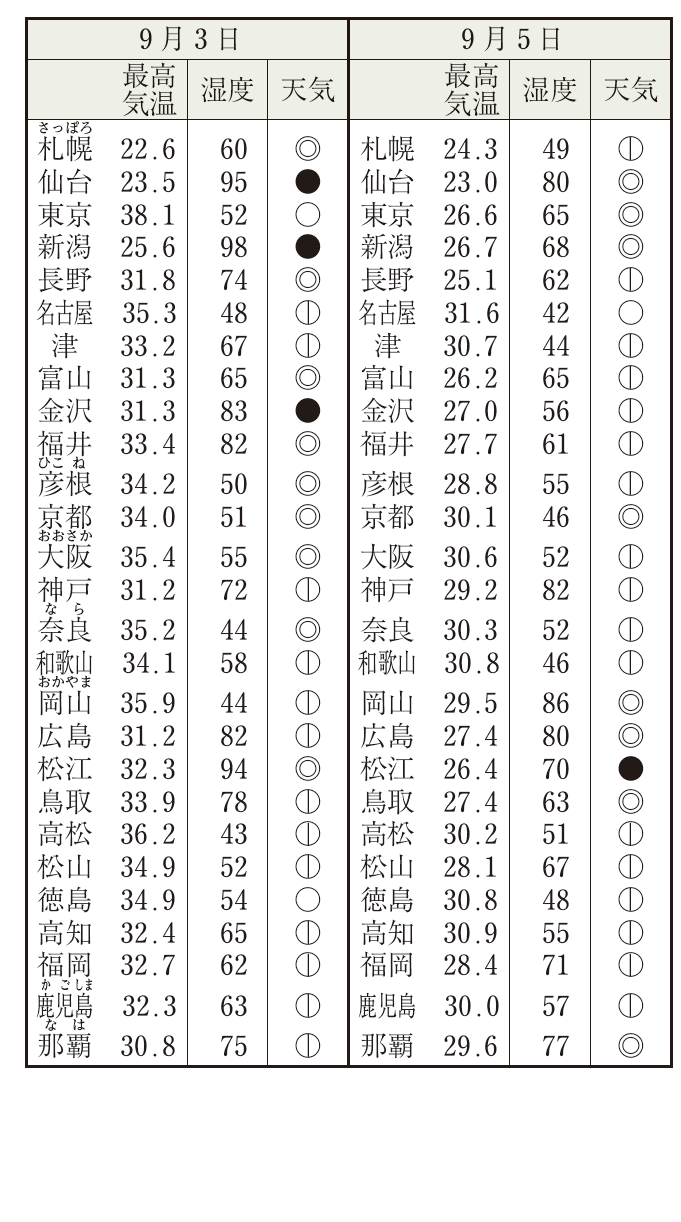
探究活動　　 **２．新聞の気象データを読む**　　　　 教科書ｐ148

＜目的＞　　新聞に掲載されている天気図や，各地の日最高気温と日最低気温，天気などのデータを用いて天気の移り変わりの様子を調べてみよう。

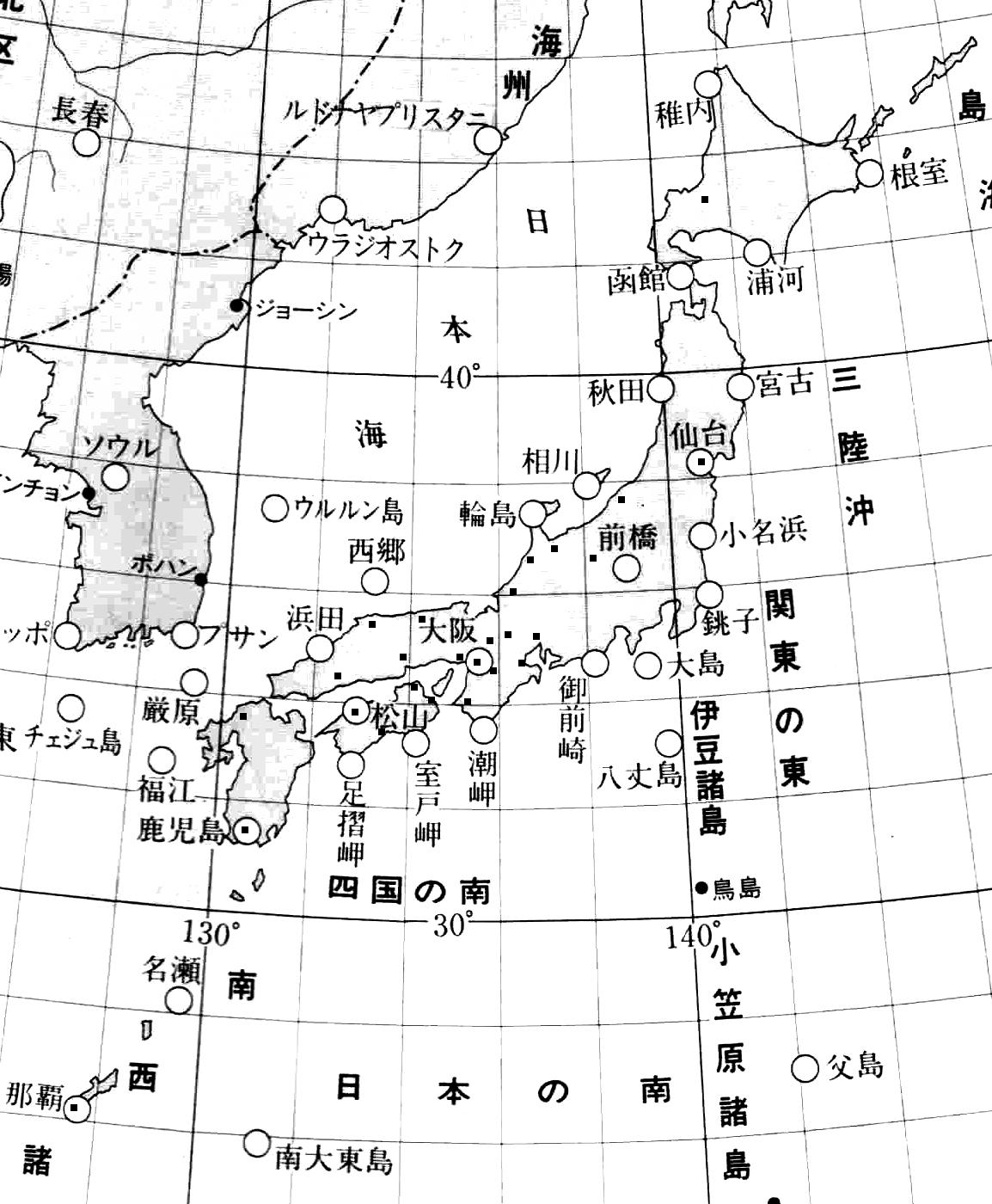
＜資料収集＞　　10 日間から１か月間ほどの気象データを集める。次の天気図と気象データは，東京の最高気温が大きく変化したときのものである。このとき，9 月3 日に38.1℃， 9 月4 日に33.3℃であった東京の最高気温が，9 月5日には26.6℃に急に下がっている。



＜方法＞　　❶ 次ページの日本の白地図上に各観測点（■印）の最高気温を記入し，最高気温の分布を調べる。このとき，各観測点を最高気温に応じた色で塗り分けるとわかりやすくなる。記入した数値を検討して，分布の特徴が最もはっきりわかるような温度区分を決める。ここでは，22℃以上26℃未満を青色，26℃以上30℃未満を水色，30℃以上34℃未満を黄色，34℃以上を赤色など，異なる色で塗り分けることにする。

❷ ❶でかいた気温分布図を天気図と比較する。気温分布図に前線を記入する。また，天気図と比較して気づいた事柄を記録しておく。

❸ 天気図上の高気圧・低気圧，前線の動きを調べる。



＜考察＞　　このときの東京の気温変化は，東京が南の高温多湿な北太平洋高気圧下から，大陸から東進した乾燥して寒冷な高気圧下に入ったことによる。2つの気団の間には前線があり，前線の北側と南側では気温が大きく変わっていることがわかる。

❶ 前線の南側と北側で，湿度はどのように変化しているだろうか。

❷ 前線付近，南側，北側での天気の状態はどうなっているだろうか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年　　月　　日 | 年　　 組　　番 | 氏名 |  |
| グループ番号 |